



議会だより

「冬の青葉山」小川津志子さん撮影(宇治区)

第117号

発行・編集/〒919-2292 福井県大飯郡高浜町議会広報特別委員会 TEL.0770-72-7710

平成26年1月24日発行



新年のごあいさつ

議長 的場 輝夫

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

町民の皆様にとって新たな年が、健やかで希望に満ちた月日と成りますよう、心よりご祈念申し上げます。

我が町の最大の行事である式年大祭が挙行され、内外から多くのお客様が来訪し、我が町の「伝統文化・自然・人」に触れて頂き、そのすばらしさを感じて頂けたものと確信いたします。大祭に携われた関係者の皆様に、心よりの敬意と感謝を申し上げます。

我が町の新たなシンボルと成るであろう役場新庁舎・公民館の具体化が迫り、文化会館・図書館の改造改修も始まり、町の防災対策の一層の充実強化、青戸埋立地・青葉山麓の保全活用、一次産業や観光事業についても町民の皆様の智恵と協力を頂きつつ取り組みが進められる年となります。

原子力発電所と共生してきた我が町として、徹底した安全対策の強化を前提に、新たな年の早期に再稼動実現への課題もあります。

こうした施策が我が故郷高浜町の将来を見据え、皆様の期待される町創りに添う内容となるよう、真摯に議会としての責務を果たしていくことを、お誓いし新年のご挨拶と致します。

トンネルの早期整備に向けて

議会一丸となって取り組むことを確認

国道27号線の青葉トンネルは昭和31年に完成以来57年が経過し老朽化が激しく、狭小な幅員、カーブした線形、歩道がないなど危険な状況にあります。大型車輛の通行量も多く、平成24年冬には積雪による大渋滞が発生しました。

日本海側の輸送ルートとして、また、万一の原子力災害時の避難道路、災害制圧道路となる重要路線であることから、議会としても青葉トンネルの早期改良整備の実現に向けて意見書を全会一致で議決し、今後、国、京都府、福井県に対し強力に要望活動を展開していくことを確認しました。 ※意見書についてはP14を参照してください。



頻繁に往来する大型トラック



歩道がなくカーブしたトンネル内



青葉トンネルの早期改良整備を
求める意見書を全会一致で議決

教育会館の取り壊しに伴い 高浜児童クラブは高浜小学校に移転

現在、教育会館で実施中の高浜地区児童クラブについて、役場庁舎・公民館建設事業に伴い、高浜小学校の空き教室に移転して実施するため、高浜小学校の改修費(児童クラブ専用玄関新設)と備品購入費の合計527万5千円が予算計上されました。

議会からは今後、高浜・和田公民館が新設されるまでに、放課後児童クラブを小学校の空き教室を利用して実施していくのか、それとも公民館を継続して利用していくのか、方針を早急に示すべきであるとの意見提起を行いました。



高浜児童クラブ移転に伴う
高浜小学校改修工事

高浜発電所の重大事故対策等の進捗状況について 高浜町議会として現地確認を実施

高浜町議会では11月27日に高浜発電所を訪問し、現在、原子力規制委員会で審査中の高浜発電所3、4号機の安全審査の実施状況について説明を受けるとともに、新規規制基準で示された重大事故(シビアアクシデント)の対策状況等について現地確認してまいりました。

当日は防潮堤の建設現場、多重化・多様化された電源設備と冷却手段、免震事務棟の建設現場、緊急時代替指揮所、格納容器内の水素再結合装置など、管理区域も含めた現場で対策状況をつぶさに確認しました。

高浜町議会として、新規規制基準の対応はもとより、規制の枠にとらわれない安全対策を着実に実施していくよう事業者に要請しました。



重大事故の対策状況を現場で確認



安全審査の実施状況の説明を受ける

高浜発電所の安全性向上に
向けた取り組み状況を現地確認

12月定例会では 以下の議案を慎重審議しました



	議 案 件 名	審議した委員会	本会議採決結果	関連ページ
議案第 64 号	平成 25 年度高浜町一般会計補正予算 (第 5 号)	予算決算	全員賛成で可決	P5・P11
議案第 65 号	平成 25 年度高浜町国民健康保険特別会計補正予算 (第 3 号)	厚生文教	全員賛成で可決	—
議案第 66 号	平成 25 年度高浜町介護保険特別会計補正予算 (第 2 号)	厚生文教	全員賛成で可決	—
議案第 67 号	平成 25 年度高浜町公共下水道事業特別会計補正予算 (第 2 号)	総務産業	全員賛成で可決	P12
議案第 68 号	平成 25 年度高浜町集落排水事業特別会計補正予算 (第 1 号)	総務産業	全員賛成で可決	P12
議案第 69 号	平成 25 年度高浜町水道事業特別会計補正予算 (第 1 号)	総務産業	全員賛成で可決	P12
議案第 70 号	延滞金の利率等見直しに伴う関係条例の整備に関する条例	総務産業	全員賛成で可決	P12
議案第 71 号	高浜町諸収入金督促手数料及び延滞金徴収並びに滞納処分執行条例の一部を改正する条例	総務産業	全員賛成で可決	P12
議案第 72 号	高浜町町税条例の一部を改正する条例	総務産業	賛成多数で可決	P5・P12
議案第 73 号	高浜町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	厚生文教	賛成多数で可決	P12
議案第 74 号	高浜町母子家庭等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	厚生文教	全員賛成で可決	—
議案第 75 号	高浜町父子家庭医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	厚生文教	全員賛成で可決	—
議案第 76 号	青郷保育所改修工事請負契約の一部変更	厚生文教	賛成多数で可決	P5・P12
議案第 77 号	中央体育施設擁壁改修工事請負契約の一部変更	厚生文教	賛成多数で可決	P5・P12
議案第 78 号	字の区域の変更	総務産業	全員賛成で可決	P12
議案第 79 号	内浦地区児童生徒通学バス購入契約	—	全員賛成で可決	—
請願第 1 号	子ども・子育て支援新制度の見直しを求める意見書提出を求める請願	厚生文教	賛成少数で不採択	—
請願第 3 号	要支援者を介護予防給付から外すことに反対の意見書提出についての請願	厚生文教	継続審査	—
陳情第 10 号	原子力規制委員会が、最大の責務である安全の確保義務に基づき、福島第一原発の汚染水海洋流出問題解決に専念するとともに、他の原発での地下水調査及び流出対策を決定しその対策が行われるまで、新規制基準に基づく原発の再審査を行わないことを求める意見書の提出を求める陳情	原子力対策	賛成少数で不採択	P5・P14
陳情第 11 号	10月 11 日に政府決定された「原発事故子ども・被災者支援法」基本方針案の見直し、基本方針の改定を求める意見書の採択について	原子力対策	賛成少数で不採択	P5・P14
陳情第 12 号	政府に米の需給と価格に責任を持つ米政策の確立を求める意見書提出について	総務産業	賛成多数で採択	P12
陳情第 13 号	要支援者への予防給付 (訪問介護・通所介護) を介護給付として継続することについての意見書提出に関する陳情	厚生文教	継続審査	—
発委第 5 号	北陸新幹線若狭ルート早期実現に関する意見書の提出	—	賛成多数で可決	P5・P12
発委第 6 号	国道 27 号線 青葉トンネル改良整備の早期実現を求める意見書の提出	—	全員賛成で可決	P12
発委第 7 号	政府に米の需給と価格に責任をもつ米政策の確立を求める意見書の提出	—	賛成多数で可決	P5

本会議での質疑・討論

質疑 議案第64号

小幡憲仁議員

①大型定置網修繕の財源が水産振興基金からの繰り入れとなっているが、電源交付金や一般財源も充当すべき。②放課後児童クラブの教育会館から高浜小学校に移転について、公民館から小学校の活用に向けた検討が必要ではないか。

まちづくり課長心得

①水産振興基金の存続のため今後は電源交付金の充当も検討したい。

教育委員会事務局長

②高浜・和田公民館建設も踏まえ検討する。

上尾徳郎議員

放課後児童クラブは、児童館で行うのが通常であり、保健課と連携して民間企業に委託して行く事は考えられないのか。

教育委員会事務局長

教育委員会が引き継いだのは対象者が小学校低学年であったため、今後保健課・福祉課と連携していく。

勝本繁昭議員

新庁舎公民館建設事業基本設計の委託料は、どのような積算基準で行

なっているのか。

総務課長

国土交通省の標準積算基準を使用している。

質疑 議案第76号

勝本繁昭議員

改修できないと施設が機能しない事は分かるが、設計段階で十分な調査、協議を行なったのか。

保健課長

当初の設計時点で各関係と協議し現地確認も行なったが、改修が進むにつれ当初のままでは、問題がある事が判明し変更となった。

質疑 議案第77号

勝本繁昭議員

設計時に詳細な土質調査を行っているのか。

教育委員会事務局長

土質調査は行なっている。また、既設工事の完成図も参考にして設計し、積算を行なっていたが現地と違いが生じ変更となった。

討論 陳情第10号

賛成討論 渡辺 孝議員

福島第1原発では、今も汚染水が止まらない状況であり、審査を行っている場合ではない。

反対討論 山本 富夫議員

福島第一原発の汚染水問題と再稼働審査は、平行して行わなければならない。世界最高水準に満たしていれば再稼働すべきである。

討論 陳情第11号

反対討論 栗野 明雄議員

すべての政党から発議され議員立法として成立した法律に基づく政府方針でありこれを見直す事は、被災者を助ける為の施策が遅れていく。

賛成討論 渡辺 孝議員

政府方針は、被災者や子供たちを守るものになっていない。

討論 議案第72号

反対討論 渡辺 孝議員

富裕層に優遇されたもので、一般者には不利で不公平である。

賛成討論 山本 富夫議員

富裕層に有利なものではないと

考える。少額投資している方にも救済措置が取られている。

討論 議案第77号

反対討論 渡辺 孝議員

設計段階での調査不足であったと考える。

賛成討論 山本 富夫議員

地中の構造について確認できなかった事は理解する。

討論 発委第5号

反対討論 渡辺 孝議員

地元負担金が発生する。在来の小浜線整備を急ぐべきである。

賛成討論 山本 富夫議員

日本海側にも国内のインフラ整備として新幹線は必要である。

討論 発委第7号

反対討論 山本 富夫議員

今後も委員会の中で議論を深めるべきである。現段階では意見書を提出すべきでない。

賛成討論 渡辺 孝議員

政府は農家、米を守るべきであり、逆の事を行っている。このままでは遊休農地は増え続ける。



国道27号線中寄交差点の歩道整備について

答弁 国土交通省へ要望中

廣瀬 とし子 議員

【廣瀬】

国道27号線中寄交差点の歩道拡幅整備が必要である。歩行者・児童通学道路であり、信号待ちの待機場所が狭く大変危険が伴う。車両の通行も多い状況である。安全対策を早急に取り組んではどうか。

【建設整備課長】

中寄交差点の改良整備事業の推進状況は同交差点が国道に対して鋭角に接続していることから、歩行者・自転車・車両等の交差点利用の安全確保のため、国道への取り付け形態の改良を要望している。



◆ゴミ集積所の設置について

【廣瀬】

町中にはゴミ集積所がなく道路上に網を被せる集積箇所がある。

集積日には、カラス等によってゴミが散乱することで周辺への悪臭もある。観光の町として環境・美化を考えてはどうか。

【住民課長】

道路上での集積所でなく、ボックス型のゴミ回収拠点の整備や、集積所の集約化を図っている。平成16年度より補助金制度を設けている。今後も道路上での集積所が多い地域に対して個別に協議する。更なる整備や集約化を図り、景観の美化、環境保全を進める。

◆南山手線通行車両について

【廣瀬】

児童通学路でもある南山手線を通過する車両が多く、スピードも出ており、道路幅も狭く、大変危険を伴う。児童の安全確保を考えてはどうか。

【防災安全課長】

通学路の安全確保を図るため、路側帯にグリーンゾーンを設けた。通学路最徐行の看板を設置する。



産業団地計画の進行状況は

答弁 専門家の派遣を受け計画づくりの準備中

栗野 明雄 議員

【栗野】

9月議会でも産業団地をつくるべきとの質問をしたが、その進行状況はどうか。経済は動いているので、チャンスは逃すべきではない。急ぐべきだと考える。

【まちづくり課長心得】

専門家の派遣を受け、企業立地の動向や進め方について意見交換を行った。企業誘致戦略を具体化する必要性を強く認識した。スピード感は大変重要で、素早く着手することは認識している。しかし、具体化には一定の期間が必要となる。

産業構造の変化が激しい時代であるので、県との連携も密にしていきたい。

◆高浜町に国際原子力人材育成施設を誘致しないか

【栗野】

日本は、原子力発電所の輸出に力を入れている。そこで必要になるのは輸出先の原子力人材育成で

ある。技術はもとより、福島事故を踏まえた安全文化を伝え、発展途上国の原子力安全に貢献するべきである。その施設を誘致しないか。

【町長】

安全性の高い原子力発電設備を輸出することは、日本の大きな役割である。輸出相手国の人材育成は、重要な課題であり、立地自治体の果たす役割も重要である。

県とIAEAは、人材育成で協力する覚書きを締結した。エネルギー開発拠点化計画では、国際的な連携の中、原子力人材の育成を平成26年度の重点策となっている。高浜町でどのような教育・訓練が可能なのか、どのような設備になるのかを検討したい。

嶺南全体で受け入れ、役割分担を図っていくべきである。国・県に対し要望していきたい。



防災計画(高浜町地域防災計画)について

答弁 適正な防災設備を計画して行く

井ノ元 康夫議員

【井ノ元】

平成25年9月の台風18号では、町内での被害は近隣市町に比べると少ないものの、多くの被害が報告された。若狭町常神半島では、土砂崩れにより集落が孤立状態となった。内浦地区でも同様で音海地区、上瀬地区は行き止まりで土砂崩れにより孤立する可能性がある為、

関係する次の5点について問う。

- ① 防災ヘリが出勤出来ない時
- ② 孤立地区との連絡方法
- ③ 自主防災組織の立ち上げが少ない状況の分析は
- ④ 防災無線の使用方法的改善
- ⑤ 高浜町での原子力避難訓練の実施について

【防災安全課長】

① 県の防災ヘリの出勤時間は日の出から日没までである為、福井県知事に対して救助要請を行い自衛隊のヘリが派遣される。夜間の場合、照明が必要であり今後関係機関と協議し設置を検討していく。

② 今年度3台の衛星電話を購入した。屋外スピーカーのボックスにも無線機が設置してある。今後避難場所である各公民館に衛星電話を配備して行く予定。

③ 今後各區に出向いて住民の地域防災力を高め組織の必要性を説明し結成に向けての説明を行う。

④ 平成23年の屋外スピーカー更新時より長所、短所での問題は理解している。外部スピーカーには直接放送出来るマイクがついていて非常時には使用している。また無線機としても利用出来る事から、役場との連絡も取れる。

今後使用ルールを作り、屋外スピーカー利用拡大を検討していく。

⑤ 原子力防災訓練は、平成20年度に実施した。今後自治体、防災関係機関、住民が一体となって実施する為、県と協議が必要あり調整をしていく。



高浜原発使用済み核燃料の中間貯蔵の現状・対策は

答弁 県外での用地確保に向け取組み中

清常 光洋議員

【清常】

使用済み核燃料のバックエンド対策については、「二義的には事業者である関西電力が中間貯蔵を設備」するよう方針が示されているが、進捗はどの程度か。

【町長】

社長をトップとする「リサイクル燃料資源中間貯蔵施設設置推進会議」を設置し、「関西電力一丸となり、福井県外での用地確保に向けて、福井県外での用地確保地に対して、中間貯蔵施設について理解を得る活動を行っている」との報告を受けている。

【清常】

原発再稼働と使用済み核燃料(核のごみ)を生み出すことは裏表であり、再稼働と「中間貯蔵施設」はセットで取り組むべきではないか。

【町長】

原発の稼働と使用済み核燃料はダイレクトな相関関係にはあるが高浜原発の現状は、裕度は少ない

がサイト内に貯蔵できるキャパシティがあり再稼働は可能である。

しかしながら、稼働と中間貯蔵施設の整備計画は、同時並行でなければ必然的に稼働出来ない事態となる。

【清常】

使用済み核燃料の県外中間貯蔵について、福井県と関西電力は定期的な協議の場を設けていると聞くが、高浜町はどうなのか。

【町長】

原子力政策に関する重要課題について、事業者から適時報告を受け県とも協議を行っている。

◆林道の整備について

【清常】

林道が荒廃しているが、林道の整備計画に取り組んではどうか。

【まちづくり課長心得】

嶺南地域全体で森林の再生計画に向け取り組んでいる。



介護保険問題について

渡辺 孝議員

【渡辺】厚生労働省は介護保険を改定し、要支援1、2の人の訪問介護、通所介護を保険サービスから外し、市町村に丸投げしようとしている。「新しい地域支援事業」に移管するというのであるが、高浜町で受け入れ可能か、対応を問う。

【福祉課長】

詳細は未確定であり、現時点では答えられない。検討事項も多く、今後の国、県状況を踏まえて検討していく。

◆「子ども・子育て支援新制度」について

【渡辺】

厚生労働省が現在進めている「新制度」は、保育に対する国、市町村の責任を後退させ、また保育に格差を持ち込む重大な内容である。見解と対応を問う。

【保健課長】

「新制度」は、幼児期の学校教育、保育の総合的な提供や量的拡大の

確保、また地域の子ども、子育て支援の充実等を総合的に推進することを指すものである。国の方針どおり、来年度以降「子ども・子育て支援事業計画」の具体的な策定などに取り組んでいく。

◆太陽光発電所の建設について

【渡辺】

関西電力は、高浜町の安土埋立地に太陽光発電所を建設する計画である。同地に高浜町の発電所の建設を提案する。売電利益で建設費は償還できるし、企業誘致と効果と考えるがどうか。

【政策推進室長】

発電事業には有資格者が必要である。また、送電網の容量の問題もある。町としては、住宅用太陽光発電の支援に力点を置く。さらに現在、「木質バイオマス発電事業」も進めている。



役場庁舎建設事業費にシーリングをかけて総額抑制が必要

答弁 総額35億円を目処に抑制を図る

小幡 憲仁議員

◆役場庁舎・公民館の建設事業費と維持管理費の抑制について

【小幡】

役場庁舎・公民館建設事業費が当初予定の総額31億円を超過し、建設後の維持管理費も5年間で約1.7億円が必要との試算が示された。今後、建設費にシーリングをかけるとともに維持管理費も低減化の工夫をすべき。

【副町長】

総事業費が4億円程度超過し35億円となる見込み。これ以上の上昇は町民の理解を得られないので、この金額を目処に実施設計を進める。維持管理費については高効率の照明や空調機器の採用について費用対効果を見極めて判断する。

◆みなし寡婦制度の導入について

【小幡】

保育料や町営住宅家賃などは所得控除後の所得で決まるが、所得税法上は未婚のひとり親を寡婦控除できないため、税金に加えて保

育料や家賃の負担も重くなる。この問題に対し、自治体によっては寡婦控除を「みなし適用」して負担を減らす自治体が出てきている。高浜町でも採用する考えはないか。

【福祉課長】

プライバシー保護の観点から事実婚といった生活実態の確認が難しく、みなし寡婦制度適用は今後の課題としたい。

◆小・中学校の学級費の無償化について

【小幡】

義務教育段階における教材費などの支出のために保護者が負担する「学級費」について、これを無償化して保護者負担を無くしてはどうか。

【教育長】

児童生徒の学習環境は年々、厳しさを増しており、必要性は理解できるが、財政が厳しい中、バラマキと誤解される懸念もある。もう少し環境の推移を見守る。



獣害が深刻、恒久防護柵の 全町設置が必要では

答弁 町民と設置に関する条件を確約する考え

山本 富夫 議員

【山本】

高浜町の農業は、ここ数年シカによる農作物被害がその深刻さを物語り、抜本的な歯止めが求められている。特に高浜町の南側の車持地係・安土から六路合地係では、鹿による侵入が農作物被害や、車両等との接触事故が大きな問題となっている。町民の生命財産が危険レベルになりつつある。抜本的対策として自己負担無しの全額公費で、獣害侵入防止恒久柵を設置すべき状況下にある。町当局の英断を求める！

【まちづくり課長心得】

恒久柵は、想定で設置事業量は全長が133・2km、金網恒久柵設置費用が約12億4千万円程度になる。12・5%の自己負担を頂くことにより、自助意識により適切な維持管理が図れるものと考えている。今後は、モンキードッグやヤギの放牧といった追い払い作業と、個体数調整のための檻等による捕獲。集落、関係団体及び専門

家をメンバーに検討委員会を設置し、地域の皆様に納得していただいた上で恒久柵設置を考えている。

◆中央体育館の利活用について

【山本】

中央体育館の擁壁改修工事が進められている状況で、今後、中央体育館のリニューアルは考えているのか。さらに防災基地としての役割も求められているが見解を伺う。

【防災安全課長】

中央体育館は、災害時の避難所として指定しており、海拔15mの高台にあることから、津波災害時には高浜地区の有効な避難場所となるので、今後、中央体育館を改築する計画を立てる場合には、教育委員会と連携し、メインとなる体育施設の機能に加え、避難所機能、防災備蓄機能を備えた施設としても活用できるよう計画していく。



平成26年度予算編成に向けた 大型事業の取り組みと現在の進捗状況は

答弁 起債の比率を下げるよう努力

上尾 徳郎 議員

【上尾】

新年度予算編成に向け、大型事業の取り組みを問う。

【町長】

建築単価の上昇により想定予算を超える状況となっている。

実施設計での予算を切り詰めるが、財源の組み方又、国と協議し交付金などの使い方の改善に努めて、財源の確保と起債の比率を下げるよう努力する。

【副町長】

●庁舎・公民館建設

現在、実施設計に入り詳細を固めて本体工事・関連予算を来年6月議会に諮りたい。当初予算には教育会館の解体などの準備予算を計上し、秋には本体工事に着手の予定。

●雨水対策事業

24年度に測量・各種調査と基本設計を実施、今年度用地買収・物件補償を終え、年度内の実施設計完了に努めている。来年度予算には26・27年で予定している湯谷地

係の調整池設置工事を継続予算として計上。28年度に南区地係の調整池設置工事を完了の予定。

財源は事業費の2分の1を社会資本整備総合交付金を充たす予定。

●文化会館・図書館増築改修工事

核燃料サイクル交付金と地域共生交付金を財源とし事業執行予定で、今年度中に実施設計を終え、来年度に工事発注で国・県との調整を終えている。

●中央体育施設の擁壁改修工事

24年度より実施して来年度が最終年度となる。財源は電源交付金を見込んで準備を進めている。





高浜町の国体会場としての環境整備は

答弁 景観整備は実施

勝本 繁昭 議員

【勝本】

5年先に2巡目の福井国体が高浜町でも2会場で競技が開催されるが観光スポットの環境整備や全国で『日本二十五勝地』に選定された高浜町を宣伝する取組みは。

【まちづくり課長心得】

平成30年開催の福井国体では2種目を開催予定である。観光地として来訪者を迎えるために必要な景観整備は実施したい。昭和初期に『日本二十五勝地』に選定された、風光明媚な海と山に囲まれた自然豊かな本町の宝とも言える地域資源を活かした観光の取り組みも強化していきたい。



日本二十五勝地に選定された景観風景

◆高浜町のバイオマス発電の取り組みについて

【勝本】

高浜町もバイオマス発電施設の取り組みの検討に入っているが、目的は何か。

【政策推進室長】

『高浜町バイオマス発電導入促進協議会』を立上げ、発電事業の実現に向けた様々な課題を検討している。また、バイオマス関連事業の全国的な先進地である真庭市へ視察を実施し、バイオマス発電事業を実施することの意義、またその課題等について多くを学び、課題を解決する必要がある本事業ですがその効果は高浜町を含め嶺南地域の地域課題を解決する大きな一助になる事業と考える。



バイオマス発電視察風景

町議会を傍聴して

高浜町婦人会会長 角谷 美佐子

高浜町婦人会から2名の女性議員が活躍されています。

そこで昨年度から議会傍聴を取り入れてみました。本年度も12月議会の傍聴を呼び掛けところ、会員の中で最高齢の方が「行きたいけど足が悪いし無理かな」と言っておられると聞き、何とか出来ないかと議会に相談してみたところ快く受け入れて頂きました。

車イスごと4人の男性職員で3階の傍聴席まで連れて行っていただきました。本人もとても喜んで熱心にメモを取りながら聞いておられる姿を見て、参加してもらって良かったと改めて思いました。

今の庁舎は車イスで上がる事は出来ませんが新庁舎にはエレベーターやスロープを完備して誰でも気軽に傍聴に行ける議会にしてほしいと思います。



▲高浜町婦人会の皆さんと
本会議場の傍聴席で記念撮影

ぜひ! 議会の傍聴にお越しく下さい

事前予約は不要です。当日お越しいただくだけで傍聴できます。
次回定例会は3月です。
お待ちしております。



高浜町議会事務局
☎0770(72)7710

予算決算常任委員会

委員長 山本 富夫

●議案第64号

補正予算の総額は、歳入歳出それぞれ1426万7千円を減額し、歳入歳出の総額をそれぞれ89億5896万1千円である。

【審議(質疑)の概要】

◆総務費

◎町内の中小事業者の従業員の資格取得や研修参加費等の額が予定よりも申請件数が増加し、300万円の追加補正。

新庁舎公民館建設事業費において、地質業務の一部変更等により1094万5千円が減額。

◎脇坂公園管理事業で遊歩道修繕料200万円と、委託料として脇坂公園法面補修資料作成業務委託料に76万8千円。



脇坂公園遊歩道破損現場

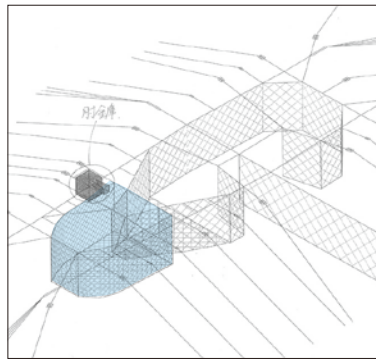
◎少子化対策費(次世代育成支援対策推進事業)として、平成27年4月運用開始予定の子ども・子育て支援新制度に係わる電子システム構築委託料920万2千円。

◆農林水産業費

◎大型定置網改修・修繕費として996万2千円。

財源は全額基金充当となっているが、他の財源を活用できないのか。

計画が緊急性もあり電源立地地域対策交付金は使途できなかった。



大型定置網修繕部分：箱網の取替など

◆土木費

◎冬季道路管理事業の追加除雪車リース料326万6千円。

何台リースであるか。豪雪地の対応が必要ではないか。

融雪剤散布器1台と、ホイローダー3台分の予算である、豪雪地帯は、その都度状況により役場職員も現地に赴き対応をする。重機オペレーターを含め関係地帯の地区とも地域防災組織を結成していただき防災面での対応をとる。



融雪剤散布器

◆教育費

◎へき地児童生徒通学バスのリース契約が平成26年3月末で満了となることに伴い、25年度内で新規購入予算計上が必要となり1627万5千円の増額補正を計上。

これまでのリース車輛を再リースするか、買取できないのか。

現在のリース契約上、そこまで取り決めされていないため、検討の結果、新車のバスを購入することにした。

表紙「冬の青葉山」緊急大募集に 24作品の応募がありました 皆様のご応募 ありがとうございました



6名の編集委員による審査の結果、小川津志子さん(宇治区)の作品に決定しました。新春にふさわしい表紙となりましたこと厚く御礼申し上げます。



総務産業常任委員会

委員長 栗野 明雄

●議案第67号

下水道管の管理状況は。

下水道のつまりの状況確認がされ、減ったが、まだ、布類のつまりがある。

●議案第68号

三松地区(ゆりが丘)下水道工事が1年間延期になったのは。

JR側が、北陸新幹線の開業に全力を尽くすため、延期を言ってきたが、1年遅らせたら大丈夫とのことであった。

●議案第69号

減額する電源立地地域対策交付金の

使途は。

他の事業に充当する。

●議案第70号・71号・72号

国税にあわせた地方税の見直しである事を確認した。

●議案第78号

字の決め方の確認があり、字・道路の大きさや、残したい字などを考慮して決めていくとの答弁が

あった。

●陳情第12号

高浜町の現状では田畑が荒れる、判断しかねるなどの意見があった。

●発委第5号

■北陸新幹線若狭ルート早期実現に関する意見書

●発委第6号

■国道27号青葉トンネル改良整備の早期実現を求める意見書

この2つの意見書を採択した。
(この意見書はP14に掲載しています。)



青葉トンネル

厚生文教常任委員会

委員長 上尾 徳郎

●議案第73号

国保特別会計補正予算で療養給付費が8488万2千円と高額だが要因は。

1人あたりの給付費と、全体の件数も増えている。今後も増加の傾向である。

委員から、レセプト点検等で高額給付などは常に把握しておくべきではないかとの意見があった。

●議案第76号

保育所改修工事請負契約の一部変更内容は。

既存内装材など撤去後、壁、床の地下補修・断熱工事。防水工を部分補修から全面シート防水改修。アルミサッシの一部再利用。消火設備・火災通報設備の追加。エアコン室外機を重耐塩仕様に変更。

前回契約額2億2万5千円
増額771万8550円

●議案第77号

体育施設擁壁改修請負契約の一部変更内容は。

当初の計画から新たに進入路新

設にあたり、予定地の既存建物の除却後ボーリング調査して推定と大幅に異なっていたため安定処理工を増したい。

老朽化した既設構造物(ブロック積)の取り壊し工で裏込めコンクリートが推定より大量により、取り壊し工を増したい。

前回契約額1億3503万円
増額1572万円

委員から2件の契約変更について、実施設計の段階での事前調査や関係部署との綿密な協議が不足していたのでは。施工図面作成や工程管理の調整でもっと早い段階での対応ができたのではないかと。施工管理体制をしっかりとるように。工事の進捗状況の確認。など厳しい意見や質問があり、各担当課・副町長より詳細な答弁や反省があった。

議案審査後、「高浜町の子育て、保育の現状」を保健課より説明を受けて意見交換を行った。

地域医療・福祉問題調査
特別委員会

委員長 廣瀬とし子

今回は株式会社ぐらっどりー代表取締役小幡真宏氏・現場責任者今井重晴氏出席のもと、在宅介護の現状と「和らなごみ」の取り組みについて説明を受け、その後、意見交換を行なった。

会社概要

会社設立から10年目を迎える。町内にない新たな介護サービスを創造する。民間事業者なら独自サービスを展開しやすく、特色あるサービス提供で町内情勢を変えたい。徹底した利用者本位／現場第一主義を貫きたい。県内でも珍しい無休営業／民家改修型のデイサービスの開設を決意した。(株)ぐらっどりを設立する。社名ぐらっどりととは・喜んで、喜びという意味である。

又昔ながらの雰囲気と畳みの床で手作りの温かい食事を提供する。カウンター越しで顔なじみの者が作る食事。自分自身で食事を食べれる食への意欲もでてくる。

新規事業地域密着型小規模多機能
型居宅介護について

誰もが年をとって、介護が必要になっても、住み慣れた自宅や地域の中で生活を安心して送れることができるよう、地域住民との交流や地域参加を図りながら、365日24時間の「通い」訪問「泊まり」サービスを柔軟に組み合わせ、地域での暮らしを支援する。定員数は登録定員25名・通い定員13名・宿泊定員5名である。利用対象被保険者(要支援介護認定者)のうち高浜町民限定である。今後は小規模多機能型介護のサテライト事業を取り入れたいとのこと。高浜町に初めての事業である。現在は建設中である。

事業開始予定は平成26年3月30日予定である。



建設が進む小規模多機能型施設

鳥獣害対策特別委員会

委員長 井ノ元康夫

今回の委員会は、若狭町海士坂(あまさか)に完成した「若狭ジビエ工房」を視察した。

正式名称は、「嶺南地域有害鳥獣食肉処理加工施設」で、今年9月14日から運用開始している。鉄筋平屋建、延床面積99㎡、対象獣種は、イノシシ、ニホンジカで若狭の山林や農村を守る為に、捕獲されたイノシシやシカの有効な活用を図るために、福井県が整備されるガイドラインを遵守し整備された。

捕獲され持ち込まれた個体は、施設に入る前に、食品衛生責任者が、目視により食肉に適しているかの厳しい確認を行い合格した物だけを一次処理室で解体し、熟成庫に運ばれる。その後二次処理室に運ばれ調理された後、真空パックされ、急速冷蔵庫から保存用冷蔵庫に運ばれて、保管され営業許可を受けた施設に提供される。

運用開始以降、加工された物はシカ18頭、イノシシ4頭で、140kgを商品化しているなどの説明があった。



嶺南地域有害鳥獣食肉処理加工施設

委員からは高浜町から運ばれた個体は遠方であるが、商品になるのか、また品質はどうかなどの質問があり、冬場で放血状態が確実であれば商品となるが解体して見ないと最初の目視ではわからない事がある。高浜町・おおい町のシカの品質は良好である。搬入された個体が商品化出来るように市町へ止め差しの指導を行っているとの回答であった。

今後捕獲されたイノシシやシカが、焼却処理されるだけではなく、獣肉を加工する事でジビエ料理として加工され多くの需要がある事を期待する。

原子力対策特別委員会

委員長 大塚ひとみ

【付託案件の審議】

●陳情第10号

立地町としては再審査をしても
らうことが大事、再稼働をして利
益を出して助けるのが良い、汚染
水対策は重大な問題で言うまでも
ないが、他の原発に対しても安全
対策、安全向上の為の審査はすべ
きなどの反対意見が出た。

●陳情第11号

見直しをしていると益々支援が
遅れる、政府の方針を見直せとい
うのは方向が違うなど反対意見が
出た。

【原子力規制庁、小山田統括管理官
より、新基準適合性審査の状況に
ついて聞き取り】

意見・要望

関電から資料が出てこないのは怠慢
ということか。

事業者も努力はしているとは思
うが当初半年と言ったようにス
ムーズにはいっていない。

審査の進捗状況は。

全体のどれくらいかは示しく
い。

・関西電力は100人体制で取り組
み、相当なレベルで対策をしてい
るがそれではだめか。

・5人の委員で対応は可能なのか。

・規制委員長は現地に赴くことが大
事。

・新基準・規則はできているのか。

・国民のために命を張ってでも、自
信を持つてする人はいるのか。

・事業者にこれだけは出さないとい
う指導はしなかったのか。

・海外からの知見はどうか。

・曖昧な状況が発電所の安全に大き
な影響を与えている。

【資源エネルギー庁、原子力発電立
地対策・広報山田室長よりエネル
ギーを巡る情勢と課題、「エネル
ギー基本計画に対する意見(案)」に
ついて聞き取り】

意見・要望

・エネルギー庁として6カ月で審査
が出来ないことに對して規制庁にク
レームはつけられたのか。

・使用済み燃料について具体的な物
をお願いしたい。

・エネルギーのベストミックスが大
事。

・日本の安全性など広報すべき。

国道27号線 青葉トンネル改良整備の早期実現を求める意見書

福井県高浜町の東西を通る国道27号線は、嶺
南地域で唯一の幹線道路であるとともに、地域
を移動するための重要な生活道路でもある。

また、東京電力福島第一原子力発電所事故で
も明らかなように、重要な避難道路であり、併
せて事故対応のための災害制圧道路でもある。

このように非常に重要な道路であるにも関わ
らず、福井県高浜町と京都府舞鶴市の府県境を
通る国道27号線青葉トンネルは、昭和31年3
月に完成以来57年間、ほとんど改良工事が行わ
れておらず、平成25年の現在においても今なお
著しく老朽化したトンネルのままの状態で放置
されており、他の国道のトンネルと比較しても
著しい格差が生まれているのが現実である。

近畿地方と北陸地方を結ぶ日本海側の輸送ル
ートとして、大型トラックが多数通行するトン
ネルでありながら、狭小な幅員、カーブしたトン
ネル線形、歩道すら整備がされておらず非常に
危険なトンネルである。平成24年の冬季時には、
早朝からの降雪によりトンネル付近で長時間通
行が途絶え、本県側においては約9kmに及ぶ大
渋滞が発生し多大な支障をきたした。

万一、このような状況下で原子力発電所の災
害が発生した場合、冬の北西の季節風が吹く中、
風上の京都府方面に避難することは出来ず、事
故の制圧にも多大な支障を来すこととなる。

こうしたトンネルの実情を何とか改善したい
との地元の切なる気持ちから、これまで陳情を
繰り返してきたが、京都府と福井県の境にある
トンネルであるということから、要望の実現に
は至らず、結局、改修工事が行われることなく
放置され、現在に至っているのが現実である。

については、高浜町議会としてこうした事態を
何とか打開するため、次の事項について強く要
望する。

1. 青葉トンネル改良整備の早期実現を図ること

以上、地方自治法(昭和22年法律第67号)第
99条の規定により意見書を提出するものであ
る。

平成25年12月17日

福井県高浜町議会

※他に、「北陸新幹線若狭ルート早期実現に関する意見書」が採択されました。

活発な意見交換を行い、多くの貴重なご意見をいただきました

11月5日、8日、第5回目となる、高浜町議会の「出前報告会」を開催した。今回の出前報告会では、9月定例会の「議会だより」の内容説明と、意見交換を行った。その報告会で出された主な質問、回答と要望などを地区ごとに紹介する。

■青郷地区

- 青葉山麓研究所が設立され、期待している。高浜町の取り組みは小さいものであるが、議会も見守って欲しい。

回答

研究所には議会からも参加している。取り組みは、まず自然環境保全である。薬草の産業活用などを生かして行くと良い。

■内浦地区

- 少子高齢化の問題で若い人に地元に住んで働いて欲しいが、就職先が無いのが問題である。今後の対応策はあるか。

回答

全町の課題であり、現在、新たな企業誘致について検討を進めている。

■高浜地区

- 現在教育会館で行われている学童保育は、新たな公民館建設後も公民館で行うのか。なぜ学校で行わないのか。

回答

学童保育は現在各公民館で行っている。本来公民館は学童保育の場所ではないと考える。重要な問題であり、今後議員内で議論する。

■和田地区

- 台風18号で車持川、たじ川が氾濫し、国道まで浸水する被害があった。対策はどうなっているか。

回答

補正予算で被害のあった河川について改修予算が計上されている。国道までの浸水対策については別途調査する。

*その後、議会として上記河川を含む台風18号の主な被害箇所について現地調査を実施した。

■ご要望

- 歴史的価値を見直すため「語り部」を育成して欲しい。
- 発電所の40年廃炉問題を考えて欲しい。
- 地区に配布される「チラシ」が多すぎる何とかして欲しい。
- 議員が視察して来た内容を公表して欲しい。

などが要望として出された。この他にも多くの意見や要望が出されたが、町内4地区で共通して多く出された意見は、台風18号被害の早期復旧と今後の災害対策、また鳥獣害対策での恒久柵設置要望などであった。アンケート結果では、参加者は少なかったものの多くの方に、良かったと回答して頂いた。

第5回

町議会



開催しました



青郷公民館



内浦公民館



高浜町文化会館



保健福祉センター

青葉山麓研究所をご紹介します

青葉山麓とは：青葉山周辺の自然環境、文化、歴史を共有する範囲のことで、青葉山に抱かれた海・川・町・田畑・山林すべてを意味する。



青葉山麓研究所のお披露目会

くりに寄与することを目的に、昨年9月に高浜町の賛同のもと、有志により発足しました。

希少植物の保護や活用、山麓の歴史や文化の発信等の活動計画を立て、これに基づき環境・文化・教育・産業の4部会を置き、動植物の調査や登山道周辺の環境整備、ガイドの育成、薬草を使った新製品の開発等を行っています。

『子供たちには、青葉山麓のかけがえのない地域資源はまたとない環境であり、高浜にはこんな素



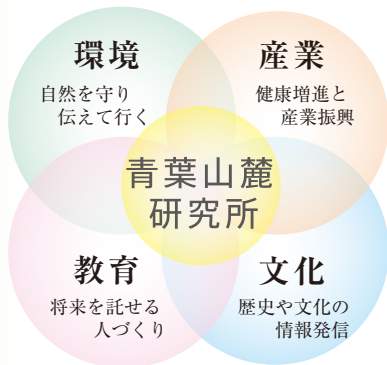
青葉山麓研究所
aobasanroku - kenkyujo

晴らしいものが、誇れるものがあるのだ、ということをお伝えしていくことが必要で、そのために環境を守り、残す活動をしていきたい。『新たな年、青郷公民館内にある事務所で同研究所の山下暢以知所長の意欲的なお話を伺いました。今後の「青葉山麓研究所」の活動にますます期待すると共に、議会においても出来ることは何か、を考えるためのきっかけと課題をいただきました。

文責 大塚 ひとみ

昨年末の12月20日(金)、町内外の関係団体(福井県里山里海湖研究所、福井県嶺南賑興局、京都府立植物園、青葉山レンジャー隊、若狭湾生物同好会)等を招き、「青葉山麓研究所」のお披露目会が開かれました。

4つの部会



希少種植物 オオキンレイカ

編集後記

平成26年「午年」の新春も、暦の上では2月4日立春を向かえます。立春とはいえ寒さ厳しい時節です。風邪等ひかないようお過ごし下さい。

私たち町議も、午年「駿馬」の如く機敏に爽やかな気持ちで、初心にかえり議会の活性化、町政の発展に努めてまいります。

町民の皆さんにおかれましても議会活動、町政に関心を持って下さい。町政へ関心を持って頂く事が議員の資質の向上、町の活性化にもつながります。

議会へのご意見、苦言などお聞かせ下さい。

文責 清常 光洋

広報特別委員会



委員長	大塚ひとみ
副委員長	井ノ元康夫
委員	清常 光洋
〃	磯部 武史
〃	小幡 憲仁
〃	勝本 繁昭